

# シルバー ところざわ



◆発行 社団法人 所沢市シルバー人材センター広報部会 2002.7月25日発行

No. 79



平成14年度

定期総会開催!!

「全議案、可決」

新理事長

秋山 優氏  
あきやま おさむ

に決まる

所沢市シルバー人材センターの平成14年度定期総会が5月28日午後1時半からエスボワール「晨麗苑」で開催された。当日は天候にも恵まれて、多数の来賓者のご臨席を賜ったほか、会員の出席者は291名にのぼった。委任状754名と合

わせて、計1千45名。定足数の過半数を大きく超え、盛大な総会となつた。

前田元議長のもと、

平成13年度の事業及び収支等の6議案について審議され、何れも、原案通り可決承認された。今回は役員改選も行われた。

総会の後、別室宴会場で懇親会が開かれ、262名が参加。親睦会合唱サークルの歌声が響く中、会員たちは終始和やかに歓談されていました。(詳報は3ページ)

ざあらさつ

理事長 高野英二

意をいたしております。

本日は、平成14年度所沢市シルバー人材センター定期総会の開催に当たりまして、所沢市長を初めご来賓の皆様には公務ご多用の中をご出席賜り誠に有難うございます。また、ご参集会員の皆様にはますますご健勝にて、シンク・事業の発展・進歩

皆様ご承知のように、かつてない経済不況に加えてデフレ経済となつてゐる今日ですが、所沢市役所初め関係機関・事業主の皆様、また、多數の理解ある市民の皆様のご協力に心からお礼申し上げます。

さて、本日の総会には6項目の議案をご提案申し上げます。平成13年度の事業報告並びに収支決算では、受注高が約4億6千7百万円に達しました。前年度に比較して4千万円に迫る増加額を示しましたことは、ひとえに会員皆様のご努力とご協力の賜であり厚く御礼申し上げます。しかしその反面、事故も12件を数え、なお一層の安全面の管理に心せねばならないと決

また、平成14年度の事業計画・収支予算につきましては、契約高4億7千万円、就業率75%を目指いたしました。重ねて皆様方のご協力をお願いするところであります。

社会を  
社会を迎え、健康で働く能力や意識を持った高齢者が益々増加する状況にあり、就業を通じて経済・社会活動への積極的な参加を促進するシルバー人材センターの果たす役割は一層重要なとなっており、また高齢者の就業率は一段と厳しい状況となります。従つて、引き続き就業機会創出員を配置し、積極的な就業開拓に努めてまいります。

さらに本年も、国の支援を得てシニアアワーケープログラム事業を実施、就業機会に結びつく技能講習を開催し、就業機会の拡大を図ります。



社会に貢献して参りたいと考えております。

新役員名簿

總会報告



# 定期総会

総会は秋山副理事長の開会のことばで幕を開けた。高野理事長の挨拶があり、その後、役員・地区委員として活躍された7名の方々に感謝状の贈呈が行われた。

金額とも順調に伸びた。就業率73%を確保でき、契約金額は4億6千7百万円と前年度を3千9百万円も上回ったこと等が報告された。収支計算書では4億9千4百43万3千円にのぼる收支の綿密な記録を議案書により説明、監事の斎藤武司氏により「適正な執行である」とのお墨付きを頂いて2議案とも承認された。

統いて議案第3号の平成14年度事業計画案、第4号の同収支予算案が諮られた。山川事務局次長の説明により、14年度は契約高4億7千万円、就業率75%を達成すること、さらに10項目の事業実施計画のうち、特に、就業機会の開拓と提供の充実・強化、福祉・家事援助サービス事業の推進、職群班の活動等

成14年度の親睦会定期総会が麓苑で午前10時30分より開催されました。

出席者106名（委任状提出者116名）の参加をみました。開会の言葉に続いて伊藤会長より「シリバ一人材センターの一員として地域社会の中で幅広い生きがい運動を行っていますが、親睦会の方も早くも3年が経過しました。会の発展のためにも行事には進んで参加し、生活の中には楽しみや喜びを皆で共有していくただきたい」との挨拶がありました。

親睦會總會

吉松直子

を重点項目にするこゝを強調された。收支予算書では当期予算額5億2千3百70万円が計上され、その内訳等が説明された。議案第5号では、正会員会費規程の一部を改定する案について諮詢された。昭和53年発足以来据え置きの会費をセンターの適正な運営に資するため、現行年会費6百円を平成14年4月より年額千2百円に改めることが主な内容で、議案第3・4・5号とも承認された。

最後に議案第6号の任期に伴う役員（理事・幹事）の選任についても承認され、役員協議の後、新役員の紹介（役員名は別表参照）が行われた。全議案とも満場一致で原案通り可決、承認された。選出された秋山脩新理事長の挨拶があり、続いて退任される高野英二前理事長に感謝状が贈呈された。

最後に兼松副理事長の閉会のことばがあつて、滞りなく総会は終了した。

（岩崎記）

した。次に来賓祝辞として高野理事長より暖かい励ましと会の更なる発展を願うとの話がありました。

ての議案が承認され、無事に閉会いたしました。

ともすれば閉塞感が強まる社会の中で、少しでも心が癒される時間を持てるこの会の存在は本当に意義があると思います。

最後にセンター事務局のご協力そして会員の皆様、会の運営に携わった方々に心よりお礼申し上げます。

## 理事長就任挨拶

秋山 倘

この度、理事長にご推薦を頂きました秋山倘でございます。素よりその器でないことは私自身承知しているところでございます。

ですから、このお話をありました時は大分悩んだ訳でございます。然しながら、振り返つてみると、私が所沢市シルバー人材センター（以下SC）という）に会員として登録しありました。その間、技能を経過しました。その間、技能を生かした仕事を通して色々な人の出会いや発注者から感謝の言葉等を賜り、大変有意義な人生を受けた次第でございます。そのSCに少しでもお役に立てる事が出来たならと考え、お受けした次第でございます。

今SCの置かれている環境を見ますと、ご承知のように厳しい経済環境と不安定な社会情勢でございます。昨年度新しく入会された会員は327名に達しました。これに伴い、今後のSCの運営方法を見直していくなければ、その機能を發揮することができません。それには、運営基盤を確実なものにする必要があります。

また、当SCが発足して24年が



状を贈る秋山新理事長

経過し、今こそ「自主・自立、共働・共助」というスローガンを強力に実践していくかなればと思います。小泉首相ではありませんが、痛みを伴う改革も必要ではなかろうかと考えます。

次に、就業に際しましては、先ず安全があつて作業があるということを、常に念頭に入れています。ようお願い申し上げます。毎年、安全推進委員の活動が進められておりますが、年間十件余の事故が発生しているのが現状でございます。いずれにいたしましても会員皆様のご理解、ご支援を賜りまして益々の発展に微力を尽くし

## 感謝状贈呈

- 高野英二様（理事長3期6年）
- 矢島力夫様（専務理事3期6年）
- 長野瑞穂様（理事5期10年・監事1期2年）
- 細谷昭司様（理事3期6年）
- 浜田博之様（三ヶ島地区委員）
- 池田重功様（所沢地区委員）
- 田中一子様（柳瀬地区委員）
- 千釜啓一様（新所沢地区委員）

て参りたいと思います。皆様のご協力を願い申し上げご挨拶いたします。

### 新副理事長紹介

氏名 田中文雄

昭和8年6月21日生

地区名 松井地区

趣味 書道・カラオケ

座右の銘 明鏡無心

抱負

会員の就業ニーズと地域社会のニーズを少しでも近づけるため、対策を更に講じて参ります。

会員の急増に対し、適正・公平な就業の実現と、仕事の分かち合いを会員の理解と合意を

### 新専務理事兼事務局長紹介

氏名 上田勝紀

昭和15年11月1日生

地区名 三ヶ島地区

趣味 登山・庭木の手入れ

座右の銘 忍耐

抱負

多様化するニーズに応えると共に運営の一層の効率化を図り、シルバーエイジの方々が愛着の持てるまちづくりの実現に向け、会員の皆様と「共働」して取り組んで参りたいと考えております。

永年にわたり、当センターの役員および地区委員としてご活躍頂きました8名の方が任期を満了し、退任されました。皆様方の任期中のご尽力に感謝の意を表し、感謝状が贈呈されました。なお、8名の方には、今後とも当センターの発展のためのご協力頂けますようお願い申し上げます。（岩崎記）



図りながら、「共働・共助」の就業を目指して参りたいと思つております。

前理事長

健康一口メモ

保健婦 和田喜美子

「こんなことがありますんか?」「お茶を飲んでも「むせる」食べ物が「口に残る」などの場合に飲み込み難くなつてゐる事が疑われます。物を飲み込むことを「嚥下(えんげ)」と言い、この時気管に入つてしまふ事を「誤嚥(ごえん)」と言います。年をとると様々な筋力が低下し、誤嚥を起し易くなります。進

行すると誤嚥性肺炎や窒息等深刻な症状も起ります。今は何の心配もない方も日頃から気をつけましょう。自分で出来る予防法を紹介します。

① **深呼吸** 鼻から大きく吸って止め、口をすばめ吐き出す。

② **口の体操** 口を出来るだけ大きく開けて素早く閉じる。また、口をすばめたり「いー」を発音するように引き締める。

③ **首の体操** 首を前後左右に動かす。ゆっくり廻す。

(4)頬の体操 頬をふくらませたり、へこませたりする。  
(5)肩の体操 両肩をゆっくり上げ力を抜いてすとんと肩を下ろし、肩をリラックスさせる。

(6)舌の体操 舌を「べー」と出したり口の奥へ引っ込んだりする。舌を横に動かし口の両端をなめる。鼻の下、顎の先を触るようなつもりで舌を上下に動かす。

簡単な体操でむせにくくなります。お試し下さい。

## 退 任 挨 捶

去る5月28日開催の平成14年度総会をもちまして、専務理事を退任いたしました。この間、会員をはじめ役員、事務局の皆様から頂きましたご厚情に對し、心から厚くお礼申し上げます。

さて、本格的な高齢化社会を迎えるセンターに課せられた課題も年々多くなりました。今日まで就業機会開発プロジェクト、シニアワークプログラム、ホームヘルパー養成研修会等の諸事業を推進してまいりましたが、今後もセンターの役割は一層重要な意味になります。

実りある高齢化社会の実現を果たすため、センターの一層のご発展と皆様の更なるご活躍をご祈念申し上げて、退任のご挨拶とさせて頂きます。

矢島 力夫

「ど」ろ茶ん」で一服を

茶（川越茶）と言っていた。次第に地形や土壤が茶樹に適している狭山丘陵の北東部が主産地となり、徳川末期から「狭山茶」と呼ばれるようになった。所沢市内には茶園163.86ha、茶栽培農家270戸、茶工場を持つ農家70戸（平成13年度・所沢市農政課調べ）がある。中国茶の進出などで、苦しい経営を余儀なくされているが、伝統ある狭山茶を守るべく、懸命な努力をしている。

おじやましまーす

## 職場訪問記 (21)



伊勢丹所沢センター全景

タード、平成4年に操業を開始している。ここで働く従業員は約千人、所沢シルバー人材センターの会員も男性9名、女性1名が就業している。6月中旬からお中元の繁忙期を迎える。さらに会員35名が短期間、就業している。作業の大半はコンピューターで自動制御されており、作業現場は清潔で明るく安全性にもかなり配慮されているように見受けられた。

所沢市中富の多聞院の近くに「伊勢丹所沢センター」がある。建築面積が約3千坪あり、4階建ての白堊の建物は近くで見るとその大きさに圧倒される。当センターは、新宿、立川、浦和など7店舗で受注したギフトやカタログ商品をはじめ、一般配送商品の入出荷・保管・包装・仕分けなどを迅速に処理するため最新鋭の物流設備と情報システムを有する戦略的物流セン

ト。トやカタログ商品をはじめ、一般的な商品の入出荷・保管・包装・仕分けなどを迅速に処理するため最新鋭の物流設備と情報システムを有する戦略的物流セン

ト。トやカタログ商品をはじめ、一般的な商品の入出荷・保管・包装・仕分けなどを迅速に処理するため最新鋭の物流設備と情報システムを有する戦略的物流セン

玉川上水は今から350年ほど前、承応3年(一六五四)江戸の町に飲料水を供給するため開削された。それが、その水源が見たりとなり、6月上旬青梅線に乗り羽村駅で降りた。駅前から地図を頼りに先ず禅林寺に向う。この寺には「大菩薩峠」で知られる羽村生まれの作家・中里介山の墓があるので立寄つてみた。

初めて見る玉川上水の水源、「羽村堰」、多摩川の水が勢いよく上水に流れ込み、想像していたより水量が多い。堰の近くにこの水路の造成に尽力した玉川兄弟の像があり、その前を通つて羽村堰下橋を渡つた。ここから羽村市郷土博物館まで徒歩約10分、河原からの爽やかな風を受け、野鳥の鳴りを聞きながら爽快な気分で歩いた。

北村氏は「職場環境が良くて、幸い上司や同事仲間に恵まれていて、状況が許す限りこの仕事を続けたい」と爽やかな笑顔で話された。一方、砂川氏は伊勢丹所

所で、平成4年に操業を開始している。ここで働く従業員は約千人、所沢シルバー人材センターの会員も男性9名、女性1名が就業している。6月中旬からお中元の繁忙期を迎える。さらに会員35名が短期間、就業している。作業の大半はコンピューターで自動制御されており、作業現場は清潔で明るく安全性にもかなり配慮されているように見受けられた。

今回はシルバー会員の中でも、就業年数の長い北村氏(67才)と砂川氏(65才)に仕事や余暇の過ごし方についてお話しを伺つた。

北村氏は週4日、9時30分から16時30分まで就業、商品の移動や館内の整理・整頓を担当されている。学生時代はバスケットボールの選手として活躍されたそうで、現在は健康管理のため、ゴルフや散歩を楽しんでいるとのこと。

北村氏は週4日、9時30分から16時30分まで就業、商品の移動や館内の整理・整頓を担当されている。学生時代はバスケットボールの選手として活躍されたそうで、現在は健康管理のため、ゴルフや散歩を楽しんでいるとのこと。

## 武蔵野散歩

### 羽村堰を歩く

玉川上水は今から350年ほど前、承応3年(一六五四)江戸の町に飲料水を供給するため開削された。それが、その水源が見たりとなり、6月上旬青梅線に乗り羽村駅で降りた。駅前から地図を頼りに先ず禅林寺に向う。この寺には「大菩薩峠」で知られる羽村生まれの作家・中里介山の墓があるので立寄つてみた。

初めて見る玉川上水の水源、「羽村堰」、多摩川の水が勢いよく上水に流れ込み、想像していたより水量が多い。堰の近くにこの水路の造成に尽力した玉川兄弟の像があり、その前を通つて羽村堰下橋を渡つた。ここから羽村市郷土博物館まで徒歩約10分、河原からの爽やかな風を受け、野鳥の鳴りを聞きながら爽快な気分で歩いた。

北村氏は「職場環境が良くて、幸い上司や同事仲間に恵まれていて、状況が許す限りこの仕事を続けたい」と爽やかな笑顔で話された。一方、砂川氏は伊勢丹所

所で、平成4年に操業を開始している。ここで働く従業員は約千人、所沢シルバー人材センターの会員になり、引き続き現在の職場に週5日、就業されている。仕事は客注品の点検(伝票と商品・数量等の照合確認)が主

で、中元・歳暮の時期はかなり忙しいようだ。園芸が趣味で、また休日にはボランティアで地域の環境整備に汗を流している。砂川氏は「喜びがなければ生きがいを感じることは出

で、中元・歳暮の時期はかなり忙しいようだ。園芸が趣味で、また休日にはボランティアで地域の環境整備に汗を流している。砂川氏は「喜びがなければ生きがいを感じることは出

で、中元・歳暮の時期はかなり忙しいようだ。園芸が趣味で、また休日にはボランティアで地域の環境整備に汗を流している。砂川氏は「喜びがなければ生きがいを感じることは出

で、中元・歳暮の時期はかなり忙しいようだ。園芸が趣味で、また休日にはボランティアで地域の環境整備に汗を流している。砂川氏は「喜びがなければ生きがいを感じることは出

で、中元・歳暮の時期はかなり忙しいようだ。園芸が趣味で、また休日にはボランティアで地域の環境整備に汗を流している。砂川氏は「喜びがなければ生きがいを感じることは出

来ませんので、日常生活の中でもいつも感謝し、希望を持つて生きるように心掛けています」と静かな口調で話されたのが印象的だった。

(加藤記)

会員親睦旅行

今年の親睦旅行は、NHK大河ドラマ「利家とまつ」の舞台になつてゐる北陸路の旅行を企画いたしました。初日は加賀藩ゆかりの「瑞龍寺」を見学します。国宝として指定されている「仏殿・法堂・山門」は一見の価値あり。翌日は、「加賀百万石博」と日本三名園の一つ「兼六園」を見学いたします。

宿泊地は加賀温泉郷・山代温泉「松籟荘」で、大変評判の良いホテルです。日頃の忙しさを忘れ、会員皆様方の親睦をより深めて頂き、楽しい旅行にしたいと思います。大勢の参加をお待ちしております。当センター事務局までお申し込みください。なお、定員になり次第締め切らせて頂きます。



○日時	平成14年9月26日(木)
○出発	9月27日(金) 1泊2日
○宿泊	旧庁舎前 7時30分出発
○会費	石川県加賀市山代温泉 「松籟荘」
2万円	バス貸切、4食付き
120名 分割可	7、8月末に1万円の

## 会員名簿追加のお知らせ

平成14年度の会員名簿に記載漏れがありましたので、お手数ですが、追加して頂きますようお願ひいたします。

12 ページ  
富岡 4 班 岡本 茂 (男)  
所沢市所沢新町 2518-2  
Tel. 942-2827

## 事務局の新メンバー紹介

あとがき

◆ 田中 光郎  
今和泉 尚子  
(福祉・家事援助サービス「—ディネーター」)  
吉田 詠子  
森沢 弘  
就業機会創出員

お知らせ

編物講習会のご案内

今年も婦人部では、フェスティバル販売作品用を兼ねて編物講習会を開催いたします。振るつてご参加ください。

三  
詩  
八  
月  
二十三  
日  
(金)

日 田

午後1時30分

場所  
センター会議室

卷之三

内 容

### 持参する物

三水縣志

力老金8号

※申込みは事務局まで

健康相談日

10月1日 9月2日 8月1日  
火(木) 午後 午後 午後

▼5月28日の総会を終えて、実質的な新年度が始まった。6年もの間、陣頭指揮に当たられた高野理事長、矢島専務理事が退かれ、新しく秋山理事長、上田専務理事（事務局）を迎えた。長びいている不況下、険しい道のりが予想されるが、残された者で頑張る外はない。高野さん、矢島さん有難うございました。これからも、お力を貸して下さい。

▼お中元の季節で忙しい伊勢丹所沢センターでは当人材センターから45人の方が派遣され、ピッキング、仕分け、毛筆、筆耕などの部門で活躍している。その様子を今回の「おじやまします」でとりあげた。ご一読下さい。

▼パソコンや携帯電話でメールが流行しているという。漢字は機械が簡単に変換してくれるようになり、若い者を中心に字を『書く力』が衰えつつあるのは否めない。しかし、せめて『読む力』は温存しておきたいもの。インカ帝国が跡形もなく滅び去つたのは活字文化が育つていなかつたからだという説もある。

# PRのページ

## シルバー人材センターに仕事を依頼されるにあたって

- 電話で手軽にお申込みになれます。
- 公益的・公共的な団体（社団法人）です。
- 請負、委任によってセンターが仕事をお引受けします。  
雇用関係は発生しません。
- 契約事項にない仕事は原則としていたしません。
- 会員の就業は雇用ではありませんので、万一事故が発生した場合は、センターで対応いたします。



## ご利用方法

### 仕事の依頼

電話または直接当センターにお申込み下さい。仕事の内容・希望等を伺います。



### 会員との面接

会員と面接をして頂きます。ただし専門的な職種の場合、担当会員をセンターで決めさせて頂くことがあります。



### 見積り及び打ち合わせ

具体的な契約内容また、就業開始日時や契約金額等を相談させて頂きます。



### 契約

センターと発注される方との間で契約を交わします。



### 会員就業

契約内容に従い仕事を開始します。毎回就業終了後、時間数を確認し履行確認書「確認印」の欄に、お名前の記入と捺印をお願いします。



### 履行確認書提出

基本的に会員がセンターへ提出します。



### 請求書発行

センターより発注者へ郵送します。



### 代金のお支払い

期日までに記載されているセンターの口座に振り込んで頂くか、センターへご持参下さい。その後、センターより会員へ配分金として支払います。

豊かな経験社会のために

社団法人 所沢市シルバー人材センター です

所沢市宮本町1-1-2 (旧市役所庁舎2階)

電話 928-8695 FAX 924-0630

ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/>